

きものSalon

きもの
サロン

会員登録で¥1000クーポン
差し上げます

きものSalon
稲美人百貨店

別冊付録

美は国境を超えて
〈デルヴォー〉

檀れいさんが行く

旅する 紬

鈴木京香さんが
草乃しずか刺繍作品で綴る

桜 物語

噂の長襦袢徹底研究

5月~7月の装いカレンダー

海老ヶ瀬順子さんの穀織

IKKOさんの春夏きもの

染め帯歳時記

きもの好き50人の、ベストワードローブ

萬田久子さん、近藤サトさん、青木奈緒さんほか

浅田真央さん
宝尽くしの帯を
お誂え

褒められ愛され

キメ

きもの

写楽の芝居絵帯に、格子三才山紬



寛政6年(1794)に10カ月だけ活躍したという東洲斎写楽が描いた芝居絵、「奴江戸兵衛」を帯に写した江戸文化を前面に出した着こなしになります。芝居に出てきそうな大きめの格子を選び、相撲観戦など楽しそう。きものをきりと着こなし、深川芸者が結んだという角出しの帯結びも粋になります。帯・きもの／
／とにもはんなり浅草店 帯揚げ
／和小物さくら 帯締め／道明

有平縞の帯に、薄紅色地御召



安土桃山時代に舶載されたインド更紗の縞を、南蛮貿易でもたらされた有平糖あるへいとうにかけた縞文様。茶道具の仕覆にも用いられて、長く愛されてきた文様です。手描きの縞文様は、自由に見えてきりりとさせ、凝ったものが好きな江戸の町民に愛されたもの。きもの文様には、歴史が潜んでいます。帯・きもの／ともに豊中・織元 帯揚げ／加藤萬 帯締め／道明